



わたしたちの生活と食品ロス

A 食品ロスでわたしたちはいくらムダにしちゃってるの？

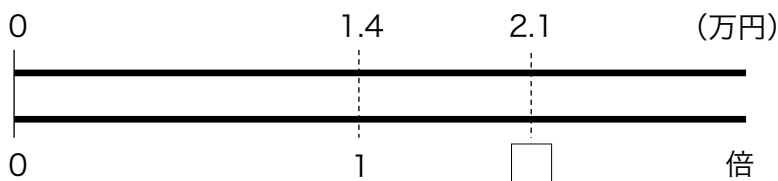
けんやくんは社会科で、「食品ロス」とは、まだ食べられるのにすてられてしまう食品のことであり、国内で起きている大量の食品ロスが問題になっていることを学びました。調べてみると、家庭から出る食品ロスは、1. 買いすぎ、2. 食べ残し、3. 野菜や果物の皮を厚くむきすぎ、と3種類の原因があることが分かりました。けんやくんは、一家庭が食品ロスで一年間にいくらむだにしているかをしめした表を見つけました。

表 一家庭が一年間に食品ロスでむだにしている料金*

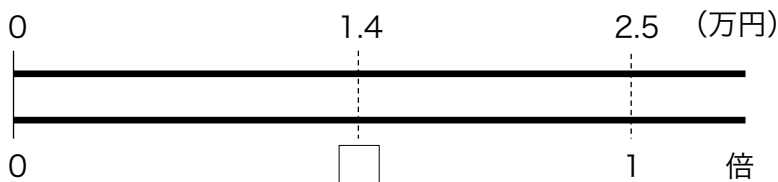
	買いすぎ	食べ残し	野菜や果物の皮を厚くむきすぎ
むだにしている料金 (万円)	2.1	1.4	2.5

(環境省¹ & ²)

1. 一家庭が一年間で、食品ロスによってむだにしている料金は合わせていくらですか。
2. 買いすぎてすてられた食品の料金は、食べ残してすてられた食品の料金の何倍ですか。



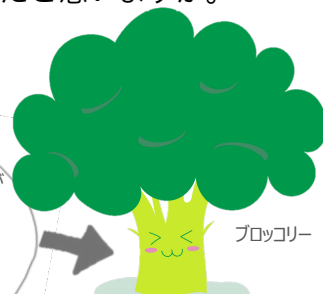
3. 食べ残してすてられた食品の料金は、皮をむきすぎてすてられた食品の料金の何倍ですか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。



4. 家庭での食品ロスを減らす利点として、よりふさわしいのはどちらだと思いますか。

- A. むだにしているお金がへり、食品をより多く買えるようになる
- B. 食品のゴミが減り、食費も安くなる

ここも食べてね～！
かぜや貧血^{ひんけつ}を予防する栄養が
たくさん入ってるよ。
緑のかたい皮の部分をもいで
内側の白い部分を細く切って
スープやいため物に入れると
おいしいよ～！



算数で考えるかんきょう問題

*一家庭四人家族の平均を表しています



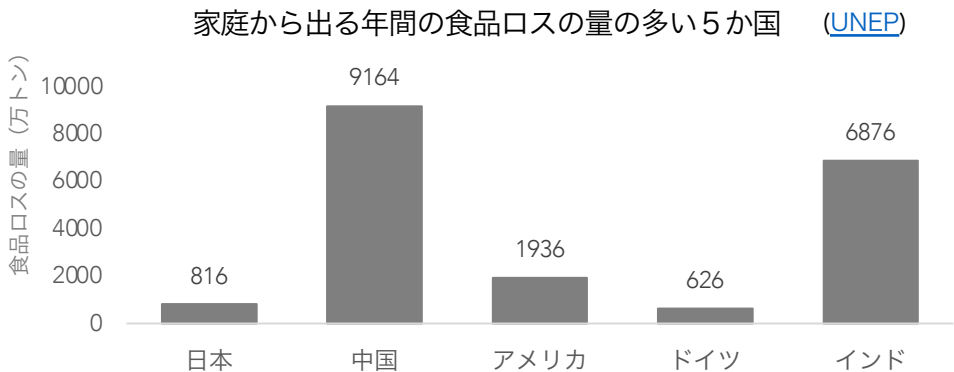
ほりさげて

かんがえてみよう

B 日本と世界の家庭から出る食品ロス

(¹食べられるのに・食べられないから) すててしまう食品ロスが多いと、資源の(²むだ使い・有効利用)になります。またそれだけ(³食費・ゴミの量)が増えることで環境問題にもつながります。

下のグラフは、(⁴国全体・一人あたり)の家庭から出る食品ロスが(⁵多い・少ない)国と、それらの国の食品ロスの(⁶数・量)を表しています。



日本の家庭から出る食品ロスの量は、世界で(⁷4・5)番目に多くなっています。世界(⁸最大・第2位)の量の食品ロスがあるのは中国で、日本の約11倍もあります。中国の(⁹人口・食料生産)も日本の約11倍あります。そのため、中国の一人あたりの家庭からの食品ロスの量は日本と比べて(¹⁰多く・ほぼ同じに・少なく)なっています。また世界で6番目に多いフランスの家庭からの食品ロスの量は(¹¹550・720)万トンでした。

食品ロスは、日本(¹²だけでなく・だけで起き)世界中で問題になっています。人と環境にやさしい世界を実現するために、2030年までに食品ロスを(¹³増や・減ら)していこうという国際目標が立てられていて、各国が目標達成に向けて取り組んでいます。

こ

1. 6万円 $2.1 + 1.4 + 2.5 = 6$

2. 1.5倍 $2.1 \div 1.4 = 1.5$

た

3. 皮をむきすぎてすてられた食品の料金をもとにして、食べ残してすてられた食品の料金が何倍になるかを求める。2.5(万円)を1とみたとき、1.4(万円)は $1.4 \div 2.5 = 0.56$ となり、答えは0.56倍。

え

4. B

かんがえてみよう

1. 食べられるのに 2. むだ使い 3. ゴミの量 4. 国全体 5. 多い 6. 量
 7. 4 8. 最大 9. 人口 10. ほぼ同じ 11. 550 12. だけでなく
 13. 減ら